

金沢大学 神経内科

年 報

第 14 号

2013 年 1 月～2013 年 12 月



金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 脳医科学専攻
脳病態医学講座 脳老化・神経病態学(神経内科学)

<http://neurology.w3.kanazawa-u.ac.jp>

目 次

年報第14号の刊行にあたって	1
[1] 出来事・人事異動	3
[2] 診 療	11
[3] 症例検討会・各種カンファレンス	17
[4] 教育活動	25
[5] 業 績	31
(1) 論文・著書	31
(2) 学会・研究会等	42
(3) その他の対外活動（委員会、取材など）	62
(4) 学会、研究会等の主催	63
[6] 研究助成	64
[7] 専門医	66
[8] 褒 賞	66
[9] 特 許	66
[10] 関連病院の施設紹介・留学記	67
[11] 大学在籍者名簿	77
編集後記	79

年報第14号の刊行にあたって

2013年（平成25年）の教室の記録を年報第14号としてまとめました。教室の診療、教育、研究活動に、学内、関連施設、国内外から多くのご支援、ご指導をいただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

2014年2月、ロシアのソチの冬季オリンピックで熱戦が繰りひろげられました。2013年9月ブエノスアイレスでのIOC総会で、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定しました。1964年の東京オリンピックの時には、私は小学生で聖火ランナーに旗を振っていましたが、56年を経て再びオリンピック開催の機会が巡ってきました。オリンピック開催決定の直後、日本神経学会は、2017年の世界神経学会議 [World Congress of Neurology (WCN) 2017] を京都へ招致することに成功しました。WCNは、1981年の京都大会以来、36年ぶりの日本での開催です。1964年の東京オリンピックは第二次世界大戦後の日本の発展を世界に認知させました。1981年の京都大会は、わが国におけるneurology（神経内科）発展の契機になりました。2020年のオリンピック・パラリンピックや2017年のWCNの開催が、次の飛躍へのステップになることが期待されます。

2013年には、プロ野球で仙台に本拠地をおく楽天の初の日本一と田中投手の連勝記録、ホテルなどのレストランにおける食材偽装の相次ぐ発覚、2014年4月からの消費税率増税（8%）の決定、台風による伊豆大島の土石流災害（10月）やフィリピンの高潮災害（11月）などのニュースがありました。

大学では、金沢大学が千葉大学、長崎大学と共に革新予防医科学共同大学院を設置する構想が文部科学省に採択されました。この新しい大学院では、私達は“認知症先制医療学”を担当します。私達は従来から能登半島の七尾市中島町で認知症早期発見・予防のための地域基盤型研究(通称『なかじまプロジェクト』)を継続しております。この大学院での活動等を通じて、疫学、リハビリ、PET他の学内外の研究施設や専門家との共同研究を一層推進し、認知症、特にアルツハイマー病の地域における早期発見、予測、予防法を確立していきたいと考えております。

この年報にありますように、2012年、当教室ではさまざまな活動や出来事がありました。ここでは、少し個人的なことになりますが、昨年夏の海外出張の時に飛行機事故に遭遇した経験を書かせていただきます。

2013年7月に米国のボストンでアルツハイマー病の国際会議（AAIC 2013）が開催されました。友人の Steve Greenberg 教授に招かれてマサチューセッツ総合病院の脳卒中センターで『脳アミロイドアンギオパチー』のセミナーをしたり、AAIC ではマウントサイナイの Giulio Pasinetti 教授と『天然化合物のアルツハイマー病治療への応用』に関するワークショップを開催したり、会議やボストン滞在を楽しみました。

すべての予定を終了した7月18日、ボストン・ローガン空港13時発の成田行 JAL 007 便（ボーイング 787）で帰国の途につきました。出発して3時間近くたったカナダの上空で、機長から「燃料ポンプにトラブルが発生したのでボストンに引き返す」というアナウンスがありました。私の座席からは見えませんが、主翼から“煙のようなもの”が出ているのを多くの乗客が目撃し、中には“覚悟を決めた”人もいました。それについての機内アナウンスは一切ありません。その後、18時過ぎにボストン上空まで戻ってきました。空港には消防車が配置されていましたが、無事着陸しました。その夜は、用意されたボストン郊外のホテルに泊まり、翌朝、バスでニューヨークの JFK 空港に送られ（フリーウェイで6時間!）、そこから帰国しました。

ボストンの空港で係員に状況説明を求めても、「お客様の安全のために念のために引き返した」と繰り返すだけでした。翼から出ていた“煙のようなもの”は乗客によって写真や動画が撮影されていて、それを見ることができました。それは、投棄した、あるいは漏れた燃料であろうという意見があり、真偽を確かめるために帰国してから航空会社に電話をしてみたところ、「出発した空港に引き返す場合、余分な燃料を海上に投棄する場合がある」という一般論を繰り返すだけで、当該機では実際どうであったのかという質問についてはノーコメントでした。“煙のようなもの”が出ていたのはボストン着陸前の海上ではなく、カナダの大陸の上空ですから、この説明が正しければ、燃料を投棄したのではないということになります。命拾い的一幕でした。

その後も、成田、モスクワ、サンディエゴ、シンガポールなどを出発した JAL 787 型機がトラブルを起こして途中から引き返したというニュースを耳にしました。“安全”と“信頼”は、航空会社のみならず私達医療関係者に強く求められるものであり、今回遭遇した事故は貴重な教訓になりました。

この年報第14号を皆様方に御高覧いただき、今後も一層の御指導を賜わりますことができましたら誠に幸いに存じます。

2014年2月
山田正仁

〔1〕 出来事・人事異動

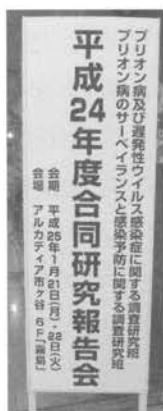
(1) 2013年医局の出来事

2013年1月11日 平成24年度 なかじま鉾打地区悉皆調査慰労会



2013年1月21-22日

プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班
プリオン病のサーベイランスと感染症予防に関する調査研究班
平成24年度合同研究報告会（アルカディア市ヶ谷、東京）



2013年2月16-17日 医局スキーツアー（スキージャム勝山、福井）



2013年3月19日 医局送別会（ぶどうの木、金沢）



2013年4月30日 新人歓迎会（昇竜、金沢）



2013年5月25日 金沢大学神経内科医局説明会（ヴァンペール、金沢）



2013年5月30日 金沢大学神経内科同門会 (Sicon、東京)



2013年7月27-28日 第9回金沢神経内科アカデミーを開催
(29～30 ページ参照)

2013年9月5日 第24回ニューロサイエンスセミナー
垣塚 彰先生 (京都大学教授) (24 ページ参照)



2013年10月4日 金沢大学神経内科医局説明会（ヴァンベール、金沢）



2013年10月22日 第25回ニューロサイエンスセミナー

Robert Friedland 先生（米国 Louisville 大学教授）（24 ページ参照）



2013年12月14日 金沢大学神経内科同門会・学術集会/総会（ホテル金沢、金沢）
（8～10 ページ参照）

2013年12月17日 医局忘年会（タブリエ、金沢）





<2013年5月 医局集合写真>

(2) 大学人事異動

2013年4月

<転入>

森 永 章 義：富山市民病院より医員へ

山 口 浩 輝：金沢大学附属病院前期研修医より医員（後期研修医）へ

<転出>

赤 木 明 生：金沢大学より愛知医科大学へ国内留学

柴 田 修太郎：金沢大学より富山市民病院へ

2013年10月

<転入>

坂 井 健 二：Southampton 大学より帰国し、金沢大学附属病院助教に復職

<配置換>

篠 原 もえ子：金沢大学附属病院助教より金沢大学医薬保健研究域助教へ

(3) 2013年 金沢大学神経内科同門会学術集会／総会

日 時：12月14日（土）

場 所：ホテル金沢

＜学術集会＞

I 一般演題

座長 濱 口 毅

1) 「球脊髄性筋萎縮症の1女性発症例」

金沢大学 山 口 浩 輝

2) 「保険診療・審査について」

おきの内科医院 沖 野 惣 一

3) 「Charcot-Marie-Tooth 病の1例」

富山市民病院 柴 田 修太郎

4) 「多発脳塞栓症を生じた51歳女性」

厚生連高岡病院 柳 瀬 大 亮

5) 「脳炎にて発症した再発性多発軟骨炎の1例」

福井県立病院 濱 田 敏 夫

6) 「両上肢筋萎縮・筋力低下を主訴に来院した66歳男性例」

石川県立中央病院 山 口 和 由

7) 「北陸地方における災害時難病患者支援計画策定の推移と課題」

医王病院 駒 井 清 暢



「"Two Years' Vacation" in Southampton」

金沢大学 坂 井 健 二



III 表 彰

高 守 正 治 同門会会長

1) 第7回 金沢大学神経内科同門会高守賞

金沢大学 濱 口 毅

- ・ Hamaguchi T, *et al.* The presence of A β seeds, and not age per se, is critical to the initiation of A β deposition in the brain. *Acta Neuropathol* 123:31-37, 2012

2) 第7回 金沢大学神経内科同門会奨励賞

金沢大学 坂 井 健 二

- ・ Sakai K, *et al.* Multiple cerebral infarcts with a few vasculitic lesions in the chronic stage of cerebral amyloid angiopathy-related inflammation. *Neuropathology* 32:551-556, 2012



金沢大学神経内科同門会集合写真（2013年12月14日）

[2] 診 療

(1) 外来実績

外来診療は、初診医と再診医をわけて行っています。今年度の初診患者数、再診患者数は前年とほぼ同様となっています。

外来担当医師の数は2013年10月より1名ふえて10名となりました。高齢化の進行などにより、複数の疾患に罹患し、院内の複数を受診する患者さんも多いため、院内他科とも連携しながら、患者さん一人一人にあった適切な外来診療を行っていきたいと考えます。

当科の外来は完全予約制となっており、来年度も継続予定のため、他院からご紹介いただく先生方には引き続きお手数をおかけしますが、何卒ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、お忙しい中、大学病院の外来診療をお手伝い頂いた小竹先生、高橋先生、外来事務の蔵谷さん、泉さんには、この場を借りて深謝いたします。

(外来医長 篠原 もえ子)

表 外来患者数 (2013 年)

月	医 事 課 集 計*				神 経 内 科 集 計			
	患者数 合計 (人)	再診	初診	入 院 中 他科受診	初 診			
		患者数 (人)	患者数 (人)	患者数 (人)	初診患者数 (人)	院内紹介 (人)	院外紹介 (人)	紹介状なし (人)
1	635	566	26	43	54	33	21	0
2	640	571	25	44	60	39	21	0
3	718	625	37	56	72	46	26	1
4	721	616	30	75	80	49 (1)*	32 (1)	2
5	694	616	32	46	57	33	24	0
6	698	623	29	46	66	43	23	1
7	777	709	31	37	70	37	33	2
8	685	592	26	67	53	31	22	1
9	717	648	17	52	58	40 (1)	19 (1)	0
10	730	660	18	52	54	37 (1)	18 (1)	0
11	613	547	20	46	53	34	19	2
12	717	640	22	55	52	36	16	0
合計 (前年比%)	8345 (103.1)	7413 (100.7)	313 (106.8)	619 (140.6)	729 (99.7)	458 (99.6)	274 (106.2)	9 (50.0)

* (カッコ) は院内、院外両方からの紹介状持参者数

2013 年度 外来担当医

曜 日	月	火	水	木	金
初 診	岩佐 濱口	篠原	篠原 (～9 月) 坂井 (10 月～) 小竹	小野	高橋和 佐村木
再 診 * 紹介初診患者含む	山田* 岩佐 小野	篠原	濱口 吉川*	山田* 岩佐 佐村木	坂井 (10 月～) 篠原 (12 月～)
もの忘れ外来 (初診) (午後)	濱口 (第 1 週)			山田/小野/ 坂井 (11 月～) /佐村木/篠原	

(2) 病 棟

神経内科病棟は東2階にあり、病床数は20床です。今年(2013年1月～12月)の退院患者の総のべ人数は190例でした。今年は、例年以上に研修医の先生方が多く来て下さったお陰で、昨年より退院症例数は増加しましたが(昨年177例)、比較的余裕を持って病棟を運営出来たのではないかと思います。ただ、入院予約はほぼ常時30人を超えており、入院予約から約3ヶ月間待って頂いていた状態で、来年はもう少し入院待ちの期間を短縮することを目標に頑張りたいと思います。

入院症例の内訳は以下に示すとおりで、例年通り変性疾患が多くを占めています。入院疾患の内訳については、例年とほぼ同様であり、例年通りの大学病院としての役割は果たしているのではないかと思います。

今年の秋には、専門コースに入って下さった研修医2年目の先生方が、ローテート先から神経内科に戻って来られ、病棟は例年以上に活気があります。研修医の先生方は、火曜日のカンファレンスでも、内科疾患の最新の診断・治療法について積極的に発表しており、知識が古くなっている指導医の方が目を白黒させていることもしばしばです。今後も一人でも多くの医学生、研修医が神経内科を志してもらえよう、病棟診療に前向きに取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、病棟運営には医師や看護師以外にもソーシャルワーカー、病棟事務、医局事務および技師、臨床心理士等の方々の多大なご助力で成り立っているものであり、ご協力いただいたことに深く感謝するとともに、今後も円滑な運営にご協力をお願いしたいと思います。また、今年もかなり無理な転院の依頼も快く受け入れて下さった関連施設の先生方に心よりお礼申し上げます。

(病棟医長 濱口 毅)

<疾患内訳>

(例数)

血管障害	1	1
脳梗塞		4
脳血管炎		4
一過性脳虚血発作		2
未破裂動脈瘤		1
認知症	1	1
Alzheimer 病		6
脳血管性認知症		2
Lewy 小体型認知症		1
若年性認知症		1
脳アミロイドアンギオパチー		1
感染症・炎症性疾患	1	7
髄膜脳炎		5
肥厚性硬膜炎		3
脊髄炎		2
Creutzfeldt-Jakob 病		2
Wegener 肉芽腫症		5
変性疾患	4	9
筋萎縮性側索硬化症	1	7
脊髄小脳変性症		8
痙性対麻痺		3
Parkinson 病		5
進行性核上性麻痺		5
大脳皮質基底核変性症		2
パーキンソニズム		4
下位運動ニューロン疾患		2
球脊髄性筋萎縮症		3

筋疾患	1 5	
筋ジストロフィー		3
封入体筋炎		1
重症筋無力症		5
縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチー		2
皮膚筋炎		1
ミオパチー		3
末梢神経障害	2 7	
家族性アミロイドポリニューロパチー		1 3
抗 MAG 抗体陽性ニューロパチー		3
その他の末梢神経障害		1 1
脱髄性疾患	7	
多発性硬化症		5
再発性視神経炎		1
Clinically isolated syndrome		1
てんかん	1 1	
内科・全身性疾患に伴う神経疾患	3	
傍腫瘍性症候群		2
CNS ループス		1
腫瘍	5	
転移性脳腫瘍		1
悪性リンパ腫		3
脊髄膠芽腫		1
その他	3 4	
精神疾患		8
不随意運動		4

脊椎関連疾患	5
抗 NMDAR 抗体陽性脳症	1
PRES	1
横紋筋融解症	1
白質病変	3
四肢筋力低下	2
破傷風	1
辺縁系脳症	2
多発脳神経障害	2
梅毒	1
一過性全健忘	1
三叉神経痛	1
両側動眼神経麻痺	1
計	190 例

【3】 症例検討会・各種カンファレンス

(1) 症例検討会

日付	年齢	性別	題 名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
1/8	68	F	血管炎症候群の経過中に脳梗塞を発症した1例	Takayasu's arteritis	赤木、濱口
1/15	63	F	緩徐に両下肢感覚障害が進行した1例	Peripheral neuropathy	柴田、佐村木
1/22	63	F	緩徐進行性の四肢筋力低下の1例	Inclusion body myositis	中村、小野
1/29	78	M	緩徐に進行する顔面の異常感覚を呈した高齢男性の1例	Multiple cranial neuropathy	赤木、濱口
2/5	66	M	慢性進行性の認知症、失調を呈した髄膜脳炎の1例	Meningoencephalitis	小松、濱口
2/12	70	M	緩徐に進行する右上肢肢節運動失行を認めた1例	Corticobasal degeneration	柴田、佐村木
2/26	56	M	悪性関節リウマチの経過中に近位筋優位の筋力低下と筋萎縮を呈した1例	Myopathy, lower motor neuron syndrome, malignant RA	赤木、濱口
3/5	73	F	多発脳神経障害の遷延を認めた1例	Multiple cranial neuropathy	柴田、佐村木
3/12	52	F	脳出血、けいれん後に精神症状を来した辺縁系脳症の1例	Symptomatic epilepsy, cerebral hemorrhage, limbic encephalopathy	山口、池田、岩佐
3/19	70	F	再発性の皮質病変を伴う白質脳症の1例	Leukoencephalopathy	柴田、佐村木
3/26	63	F	認知機能低下と両下肢筋力低下を呈し画像検査で頭部白質病変と長大な脊髄病変を認めた1例	Leukoencephalomyelitis	赤木、濱口
4/2	63	F	再発性視神経炎を伴った肥厚性硬膜炎の1例	Wegener's granulomatosis	中村、小野
4/9	63	M	認知機能障害と下位運動神経障害を呈した1例	Amyotrophic lateral sclerosis with dementia	小松、小野
4/16	68	M	多彩な神経症状を認めたMPO-ANCA陽性の血管炎の1例	Peripheral neuropathy	山口、濱口
4/23	51	F	約半年の経過で進行したミエロパチーの1例	Multiple sclerosis	中村、濱口

日付	年齢	性別	題 名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
4/30	48	M	ミオパチー、ニューロパチー、ミエロパチーを呈した1例	Myopathy, peripheral neuropathy, myelopathy	山口、濱口
5/7	54	M	痙性を伴い、L-DOPA への反応が不十分であったパーキンソニズムの1例	Progressive supranuclear palsy	尾崎、森永、岩佐
5/14	47	F	進行性脳血管狭窄と多発脳梗塞を来した1例	Cerebral angitis	三輪、小松、小野
5/21	59	F	非ホジキンリンパ腫治療2年後に多発脳病変が生じた1例	Diffuse large B-cell lymphoma	清水、池田、佐村木
5/28	59	F	多発性骨髄腫に合併した脱髄性ニューロパチーの1例	Multiple myeloma	中村、濱口
6/4	70	M	抗NMDAR脳炎再発との鑑別を要した症候性てんかんの1例	Symptomatic epilepsy	山口、濱口
6/11	66	F	病歴上ステロイド反応性があると思われた亜急性・進行性脳症の1例	Steroid responsive encephalopathy	尾崎、森永、岩佐
6/18	64	F	軽度の失調とパーキンソニズムを来した1例	Progressive supranuclear palsy	三輪、小松、小野
6/25	22	F	コントロールに難渋しているてんかん重積の1例	Status epilepticus	中村、濱口
7/2	73	F	髄液中の抗体が陰性であったが神経梅毒として治療した1例	Syphilis	山口、濱口
7/9	60	F	高安病による高血圧にて発症し、くも膜下出血を併発したPRESの1例	Posterior reversible leukoencephalopathy syndrome	森永、岩佐
7/16	28	M	診断に苦慮している脳幹病変の1例	Clinically isolated syndrome	池田、佐村木
9/3	56	F	緩徐進行性の四肢筋萎縮と失調を呈した1例	Lower motor neuron syndrome	小松、小野
9/10	46	F	認知機能障害で発症した多発性硬化症の1例	Multiple sclerosis	山口、濱口
9/17	43	M	緩徐進行性の両上肢遠位筋筋力低下の1例	Motor neuron disease	中村、濱口
9/24	63	M	緩徐進行性の失調と末梢神経障害を呈した1例	Sensory and motor polyneuropathy	小松、小野

日付	年齢	性別	題 名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
10/1	39	M	経過中に左椎骨動脈狭窄化を認めた若年性脳梗塞の1例	Cerebral angitis	末松、池田、佐村木
10/8	76	M	歩行障害、認知機能障害、排尿障害を呈した1例	Lumbar spondylosis	中村、小野
10/15	75	M	認知機能障害と末梢神経障害を呈した多系統萎縮症の1例	Multiple system atrophy	深井、山口、坂井
10/15	54	F	3年間の経過で進行する脳神経障害の1例	Multiple cranial neuropathy	松本(石川県中)
10/22	54	F	筋病理にて small grouped atrophy を伴ったミオパチーの1例	Myopathy	中野、小松、濱口
10/29	48	M	高度の下肢脱力を呈しながら松葉杖歩行が可能であった1例	Psychiatric disorder	蘇馬、森永、小野
11/5	58	M	ATTR Val30Met 変異を認めた1例	Familial amyloid polyneuropathy	島、中村、佐村木
11/12	59	M	慢性に進行する感覚優位型髄鞘障害型末梢神経障害の1例	Sensory dominant polyneuropathy	深井、山口、坂井
11/19	56	M	Diabetic cervical radiculoplexus neuropathy が疑われた1例	Cervical radiculoplexus neuropathy	尾崎、池田、岩佐
11/26	31	M	多発点状出血と白質脳症を呈した1例	Cerebral amyloid angiopathy	中野、小松、濱口
12/3	72	F	周期性発熱と多発性脳梗塞を認めた1例	Intravascular lymphomatosis	島、中村、佐村木
12/10	21	F	発症早期に卵巣未熟奇形腫を摘出した抗 NMDAR 脳炎の1例	Anti-NMDAR encephalopathy	山口、坂井
12/17	67	M	生体腎移植後に帯状疱疹を発症し意識障害を呈した1例	VZV encephalomyeloradiculitis	尾崎、池田、岩佐
12/24	38	M	長大脊髄病変、中脳、小脳病変を呈した1例	Neurosarcoidosis	中野、小松、濱口

(2) CPC(金沢大学/医王病院)

日付	年齢	性別	臨床診断	臨床担当医	病理診断	病理担当医
3/12	55	M	MS	能登（石川県中）、 古川（厚生連高岡）	MS	濱口
5/14	68	F	MSA	田上（医王）	MSA, CAA	中村
7/30	70	M	ALS	島、駒井（医王）	ALS, LBD	中村
10/1	80	M	ALS	池田 ^篤 （医王）、 石田（医王）	ALS	石田（医王）

(3) 生 検

疾患内訳（臨床診断（疑い病名含む））

筋	慢性ミオパチー（神経原性変化も伴う）	5
	炎症性ミオパチー（多発筋炎・皮膚筋炎・封入体筋炎含む）	20
	ミオパチー性変化	2
	先天性ミオパチー	1
	筋ジストロフィー	2
	合計	30例
神 経 ・ 脳	軸索障害性ニューロパチー	2
	ポリニューロパチー	8
	CAA	1
	Lymphoma	1
	Wegener 肉芽腫症	1
	合計	13例

所属内訳

所 属	検体数
金沢大学附属病院 神経内科	14
〃 他科	11
石川県立中央病院 神経内科	5
厚生連高岡病院 神経内科	3
金沢医療センター 神経内科	2
福井県立病院 神経内科	2
富山市民病院 神経内科	1
計	38

(4) 生検カンファレンス

日付	臨床診断	所属	担当医
1/29	脳アミロイドアンギオパチー	奈良県立医科大学附属病院神経内科	佐村木
2/12 2/26	多発脳神経障害、末梢神経障害 皮膚筋炎の疑い 多発筋炎疑い アンドロゲンレセプター遺伝子異常伸長のヘテロ保因者	当科 厚生連高岡病院 石川県立中央病院 石川県立中央病院	赤木、佐村木 古川 能登 山口、池田、岩佐
3/5 3/19	前頭側頭葉型認知症 皮膚筋炎の疑い 悪性リウマチに伴うミオパチー 封入体筋炎	金沢医療センター 石川県立中央病院 当科 金沢医療センター	坂尻 松本 赤木、濱口 坂尻
4/2 4/9 4/23	SAH コイリング後、脳内出血 LGMD の疑い 強皮症、筋炎 皮膚筋炎疑い、SLE	当院脳神経外科 当科 当院皮膚科 当院腎臓内科 1	上出、宮下 小松、濱口 笠原 小倉、三宅
5/21	ANCA 関連血管炎 筋炎の疑い 筋炎疑い	当科 厚生連高岡病院 当院リウマチ内科 2	山口、濱口 柳瀬 東谷、北田
6/18	多発筋炎	石川県立中央病院	松本
7/2 7/9	LGMD の疑い 皮膚筋炎 多発筋炎の疑い	富山市民病院 石川県立中央病院 福井県立病院	柴田 松本 島
8/20	高 CK 血症 サルコイドーシス	当科 石川県立中央病院	中村、濱口 松本
10/22	Wegener 肉芽腫症、肥厚性硬膜炎、くも膜軟膜炎、正常圧水頭症	当科	池田、佐村木
11/12 11/26	筋炎疑い 筋炎疑い 多発筋炎疑い 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー 疑い 筋炎疑い	当院腎臓内科 1 当院腎臓内科 1 当院腎臓内科 1 石川県立中央病院 福井県立病院	中井 南 堀越、三宅 三輪、松本 島
12/17	多発筋炎（抗 SRP 抗体陽性）、間質性肺炎	当院腎臓内科 1	玉井

(5) 臨床神経セミナー

月1回、主に第3月曜日17時30分から神経内科、脳神経外科、神経精神科の3科合同で、症例検討会を行っています。2013年に神経内科から提示した症例を表に示します。

日付	年齢	性別	題名	主治医
1/21	68	F	血管炎症候群の経過中に脳梗塞を来した一例	赤木、濱口
2/18	78	M	緩徐に進行する右上肢肢節運動失行を認めた一例	柴田、佐村木
3/18	25	M	再発性視神経炎に髄膜脳炎を合併した一例	小松、濱口
4/15	70	F	頸部不随意運動の一例	小松、小野
5/20	59	F	非ホジキンリンパ腫の治療2年後に多発脳病変が生じた一例	清水、池田、佐村木
6/17	46	F	進行性脳血管狭窄と多発脳梗塞を呈した一例	三輪、小松、小野
9/9	22	F	コントロールに難渋したてんかん重積の一例	中村、濱口
10/21	36	F	白質病変とトルコ鞍空洞症を呈した Wegener 肉芽腫症の一例	池田、岩佐
11/18	39	M	脳血管炎による若年性多発性脳梗塞の一例	池田、岩佐
12/16	31	M	微小出血と白質脳症を呈した一例	中野、小松、濱口

(6) もの忘れ外来検討会

月に1回、外来主治医、各検査担当医、心理士、なかじまプロジェクト関係者が集まり、もの忘れ外来受診患者を中心に、病歴、神経学的所見、検査所見を元に、診断、治療方針の検討を行っています。当外来初診患者総数は2013年末までで1079名となりました。1020名の検査後診断の内訳は448名（46％）が Alzheimer 病、191名（20％）が軽度認知障害、170名（18％）が正常範囲でした。

月（2013年）	検討症例数
1月	6例
2月	7例
3月	5例
4月	12例
5月	11例
6月	10例
7月	12例
8月	8例
10月	10例
11月	8例
12月	10例

(7) 大学院生研究発表会

日付	演者	題 名
11/19	高橋良一	Phenol 化合物による α -synuclein の凝集抑制効果の検討
11/26	堂本千晶	タッチパネル式簡易認知症スクリーニング検査のアルツハイマー病における有用性 ―続報―

(8) ニューロサイエンスセミナー

- 第24回ニューロサイエンスセミナー：平成25年9月5日
垣塚 彰：京都大学大学院生命科学研究科・高次生体統御学分野 教授
「神経変性疾患における VCP 蛋白質の役割」
- 第25回ニューロサイエンスセミナー：平成25年10月22日
Robert Friedland：Professor, Department of Neurology, University of
Louisville School of Medicine
“Molecular mimicry and the causes and mechanisms of the
neurodegenerative disorders”

[4] 教育活動

(1) 神経系疾患系統講義

●医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生

日付	項目	題 名	講義担当者
4/12	総 論	Neurology 入門	山田正仁
4/19	〃	検査（神経生理、髄液、病理）	岩佐和夫
4/26	各 論	神経系感染症、脱髄	小野賢二郎
5/10	〃	変性疾患（錐体外路系疾患・認知症疾患）	山田正仁
5/17	〃	変性疾患（運動ニューロン疾患・脊髄小脳変性症）	小野賢二郎
5/24	〃	末梢神経、自律神経	岩佐和夫
6/7	〃	神経筋接合部、筋疾患	吉川弘明
6/14	〃	神経系の代謝性・中毒性・腫瘍性疾患、内科疾患に伴う神経障害	岩佐和夫
6/19	〃	脳血管障害の診断と治療（1）	篠原もえ子
6/21	〃	脳血管障害の診断と治療（2）	濱口 毅
6/28	〃	発作性、機能性疾患	吉田光宏*
9/6	特別講義	神経変性疾患に共通する発症機序の解明を目指して	垣塚 彰**
11/15	〃	シナプスの構造、機能と免疫	高守正治***

*国立病院機構北陸病院神経内科診療部長/認知症疾患医療センター長・本学非常勤講師

**京都大学教授・本学非常勤講師

***本学名誉教授・本学非常勤講師

(2) 基本的臨床手技実習

●医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生

2013年春・秋学期 総授業数 4回×5ターム＝計 20回

担当者：岩佐和夫、小野賢二郎、濱口 毅、篠原もえ子、佐村木美晴

(3) 臨床講義

●医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生（2013年度）
（2013年7月～2013年12月の9回）

日付	年齢	性別	題名	疾患名	講義担当者
7/5	40	M	夕方になると体が動かない・・・	重症筋無力症	山田正仁
9/20	54	F	呂律が回りにくく・・・	筋萎縮性側索硬化症	山田正仁
9/27	64	M	やせ細る四肢	皮膚筋炎	山田正仁
10/4	60	F	転倒しやすく	進行性核上性麻痺	山田正仁
10/11	82	M	末梢が動かない・・・	家族性アミロイドポリニューロパチー	岩佐和夫
10/18	48	F	力がはいらない・・・	筋強直性ジストロフィー	岩佐和夫
10/25	39	M	右だけおかしい	脳梗塞	山田正仁
11/22	48	M	右足が動かない	髄膜脳炎	岩佐和夫
12/6	52	F	だんだん歩けなくなった	脊髄小脳変性症	岩佐和夫

(4) 臨床実習 (BSL)

●医薬保健学域医学類 5 年生、医学部医学科 5 年生

学期	開始日	終了日	グループ数	学生総数
2012年度冬学期	1月7日	3月19日	3	19
2013年度春学期	4月8日	7月12日	7	41
2013年度秋学期	10月3日	12月17日	5	32

BSL スケジュール (月曜スタート)

曜日	午前	午後
月	9:00 ガイダンス	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	講義
水	金沢医療センター見学	
木	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (岩佐)	
金	8:00 病棟グループ回診	医王病院見学、学生 CC
月	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (山田)	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	教授面接

BSL スケジュール (木曜スタート)

曜日	午前	午後
木	9:00 ガイダンス	
金	8:00 病棟グループ回診	医王病院見学
月	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (山田)	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	講義
水	金沢医療センター見学	
木	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (岩佐)	
金	8:00 病棟グループ回診	学生 CC、教授面接

教育活動は、4年生、5年生、6年生に対して行っています。

4年生には、系統講義で神経内科の基本を講義し、診断学実習では神経所見の取り方を教え、臨床講義、チュートリアルで診断・治療までの考え方の訓練・指導を行っております。本年度から臨床講義が4年生の春学期から始まったため、臨床的知識が乏しい状態から取り組むことになりましたが、その分、臨床講義に興味を持って取り組んでいました。

5年生は臨床実習を行っています。実習内容はほぼ昨年度を踏襲しています。今年度も金沢医療センターと医王病院での学外実習にて急性期病院と神経難病を主に診療する病院での診療を見学することができ印象深かったようです。学外実習で御指導を賜りました新田先生、坂尻先生、駒井先生、石田先生には、この場をお借りし深謝いたします。

6年生の一部は、診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）に参加しました。本年は1人の学生が参加し、主治医と同じ立場で入院患者を入院から退院まで担当し、さらに深く神経内科での診療について学んでいました。

（教育係 佐村木 美晴）

(5) 大学院医学系研究科医科学専攻（修士課程）講義

石田千穂：病理病態学：神経系。（2013年7月19日、26日）

(6) 医薬保健学域 医学類1年生「初学者ゼミ」

担当者：岩佐和夫（2013年7月16日）

担当者：山田正仁（2013年9月25日）

(7) 金沢大学医薬保健学域 薬学類「薬物治療検討会」

岩佐和夫：パーキンソン病。（2013年11月14日）

山田正仁：アルツハイマー病。（2013年11月19日）

(8) 第9回金沢神経内科アカデミー

当教室では、神経内科の魅力を医学部学生ならびに研修医に知ってもらうために、2005年より神経内科臨床および基礎研究に実際にふれてもらう機会として、金沢神経内科アカデミーを実施しています。2013年は、夏休みにもかかわらず6名の参加者を迎え有意義な臨床や研究の実習が行われました。

プログラム

7月27日(土)

- | | | | | | |
|-------|-------------------------------------------|----|----|----|----|
| 9:45 | 参加者医局集合：オリエンテーション | | | | |
| 10:00 | 病棟実習：主治医グループに参加し、患者診察や処置の見学
カンファレンスに参加 | | | | |
| 11:00 | 神経筋生検 | | | | |
| 12:30 | ～ lunch time ～ | | | | |
| 13:30 | 中枢神経 MRI 画像の読み方 | 講師 | 赤木 | 明生 | 先生 |
| | | | 小松 | 潤史 | 先生 |
| | | | 森永 | 章義 | 先生 |
| 15:00 | 認知機能検査概要・見学 | | | | |
| 16:00 | 講演(1)「海外留学のすすめ」 | 講師 | 濱口 | 毅 | 助教 |
| | 講演(2)「神経内科のキャリアパス」 | 講師 | 山田 | 正仁 | 教授 |
| 17:00 | 写真撮影、終了 | | | | |
| 17:30 | 親睦会 | | | | |

7月28日(日)

- | | | | | | |
|-------|-----------------------------------|-----|----------|--|--|
| 9:00 | 医局集合：各研究実習の概要説明・実習(コース選択)
研究実習 | | | | |
| | A) 神経病理 | 担当： | 石田、中村、山口 | | |
| | B) 脳画像解析 | 担当： | 佐村木、小松 | | |
| 12:00 | ～ lunch time ～ | | | | |
| 13:00 | 研究実習続き | | | | |
| 15:00 | 終了 | | | | |

<参加者>

金沢大学4年	餌取慶史
金沢大学4年	児島直樹
東京医科歯科大学4年	豊田早織
金沢大学5年	中井文香
新潟大学5年	阿部大樹
新潟大学5年	星名雄太

